

柏ビレジ自治会便り

9/10月号



柏ビレジ・ニュース

2010年10月2日
柏ビレジ自治会発行
自治会事務局(自治会館)
TEL 04-7132-1925
FAX 04-7132-1965

スポーツ

10月23日(土)

グラウンドゴルフ大会

会場:花野井小学校

13時30分開場(14時開演)

秋を楽しむ

秋に深める

文化

11月3日(水)

農業祭 作品展示

JAIちかわ柏地区

11月13日(土)14日(日)

柏市民柏地区文化祭

会場:田中近隣センター体育館

11月21日(日)

柏プリムラ・エ・コール
秋のふれあいコンサート

会場:花の井保育園

13時30分開場(14時開演)

はなみずき展示会スケジュール

- 9月27日(月)~10月9日(土) 東大大学院生「ビレジの未来、水辺の公園」をテーマにした研究発表 第2弾
- 10月12日(火)~23日(金) 東大大学院生「ビレジの未来、緑道」をテーマにした研究発表 第3弾
- 10月16日(土) 13時半~ 映画会「シャレード」オードリー・ヘップバーン
- 10月23日(土) 14時~ B.V&SAWA コンサート
- 11月 8日(月)~20日(土) 新樹会作品合同展
- 11月26日(金) 14時~ オカリナコンサート デュオ「千の風」

芸術

▲柏ビレジ近隣公園の紅葉

ご協力ありがとうございました

夏季夜間防犯パトロール

7月17日から8月14日まで、7回の防犯パトロールを実施しました。猛暑の中、延べ247名の参加、ご協力ありがとうございました。不況の影響もあって車上荒らしや空き巣などの犯罪が増加の傾向にあります。住民の防犯意識向上のためにも今後も継続して行きます。12月、1月に冬季のパトロールを計画中です。より多くの住民の方々の参加をお願いいたします。

農あるまちづくり—柏たなか駅周辺— 環境コンビニステーション

巨大ショッピングセンター、高層マンション群と華やかな都会風の街として発展する「柏の葉キャンパス駅」周辺。一方、隣接する「柏たなか駅」の周りにはのどかな田園地帯が広がり、昔風な大きな家の農家が散在し、歴史と風格を感じさせる大きな樹木に囲まれた吉祥院、大室香取神社、姫宮神社の付まいなど、日本の原風景を偲ばせるような風景で実に対照的です。こんな町の特長を活かし、21世紀のテーマ「農」との交流で創る健康で安らぎのある暮らしを目指した、柏北部東地区の新しい町造りが進んでいます。



千葉大、東大、J A田中、田中地区ふるさと協議会、TX、UDCK、UR都市機構に柏市も加わった「農あるまちづくり実行委員会」が組織されています。その実行推進の拠点として、今年4月に「柏たなか環境コンビニステーション」が駅前高架下に設けられ、すでに活発な活動が始まっています。(写真上、左) 20人から30人用の会議や教室に使える部屋、調理器具や食器類も備えられたキッチン、木製の広いオープンデッキなどの設備が整えられています。6月には、田中地区で取れた農作物を使った料理教室、7月には千葉大院生の提案で「柏でパーティ」という大人数で食べる料理教室などが開かれました。200人ほどが集まり、アツと言う間に売り切れた地元農産物を中心とした「朝市」が大人気でした。次回の朝市は11月20日に予定されています。

また農業生産への理解を深めるため、練馬区で成功し評判となった「農業体験農園」が地元農家とのコラボで計画され、すでに多くの応募が寄せられています。(写真右)

「手前そばを打とう! ~種から作れるそば打ち体験~」も進行中。目下そばが猛暑にもめげず、線路脇の畑ですくすく育っています。千葉大から派遣されてステーションに常駐されている中島敏博さんは、里山やふるさと町造り、炭焼きなどのプロで研究者。散歩がてらに柏たなか駅の「環境コンビニステーション」に立ち寄り、「農あるまちづくり」への熱い想いを語り合い、自らもいろいろな企画に参加してみたいかがでしょうか。

■お問い合わせ先:環境コンビニステーション 中島館長 04-7157-2861



かしわサラダを作ろう!!

かしわサラダってなあに?

柏の「かぶ」「ねぎ」「ほうれんそう」は全国でトップクラスの生産量!! これらの野菜をメインに使ったヘルシーでお手頃、簡単な料理を「かしわサラダ」と呼んでいます。



ねぎの甘酢漬け レシピ市長賞

【材料2人分】
長ネギ:1本/つゆの素:
小さじ2/酢:大さじ1と
2分の1/砂糖:大さじと
2分の1



【作り方】
①グリルで3cmくらいに切ったネギをこげめに切ったくらいに焼く。
②酢、砂糖、つゆの素をまぜ、できたネギをつける。

▼手甲脚絆と、藍のかすりの着物脚絆なら虚無僧もいた。ある日その虚無僧がうちの庭に入り込んで、床の間の父の尺八の楽譜入れに書いてある字を見て、「お宅は都山流ですか」と言ったことを覚えていた。子供の楽しみは紙芝居屋さん。柏子木がチヨッキ、チヨッキと横丁に響き渡る。それと太鼓。ストーリーのクライマックスに達すると、おどろおどろしく鳴り響く。子供の私の胸もドキドキする。頭の上にいるような細工を沢山乗せて、うちわ太鼓を鳴らしてやって来る館屋さん。早朝の貝屋さん、納豆屋さん。▼戦前戦中のどこかのんびりした蔵市と子供のころに抱いていた思いが、軍靴の足音を押しつけて私の胸の中を占めている。何と、快い音たちよ。

懐かしい売り声

戸崎 昭子

エッセイ集「いたずらうさぎ」より

▼私達の町に、冬は小さなタンク車で灯油屋がやって来る。もの凄いいりやうでペーターベンの歓喜の歌を流しながら、合間に「トートーユー」と歌うように声を張り上げて。売り声と言えは豆腐屋さんも車でもやって来る。これもかなりのボリュームの音楽入りで。それを聞いて私は慌てて財布をひつつかんでサンダルをつっかけ道に飛び出す。豆腐屋ははるか彼方。

▼それに比べると昔の豆腐屋は優雅なもの、あのラッパの音。賽の目に切ってください、「八丁にお願ひ」と頼むと天秤の桶の中から豆腐を取り出し金色に光った幅広の包丁で切ってくれる。天秤と言えは魚屋。「いわしこい いわしこい」という売り声。金魚屋さんも懐かしい。「きんぎょえー きんぎょ」と独特な節回し、「ああ夏が来た」と思ったものだ。季節を感じさせるものとしては風鈴屋さん。売り声は覚えていないがあのキラキラした音はいい。ラーメン屋さんのチャルメラも冬の夜長を思わせる。

▼羅宇屋さんも音で客寄せをする。煙管の羅宇のつまりを直す仕事を。ピーポーという音と蒸気を出していたと思う。音では薬屋さんもいた。引き出しがたくさんついているものを担いで歩いていったと思う。歩く度に取っ手がガチャガチャ音を発する。その小さな引き出しには薬が入っている。薬と言えは富山の薬売り。べつに売り声はないのだが私達子供はその来訪を心待ちにしていた。小さなお土産を持って来るのだ。宣伝用の紙風船なんかなのだが。毒消し売りの女の人も来た。「どっけしやいらんかねえ」と声を張り上げて。

にぎわいの夏祭り

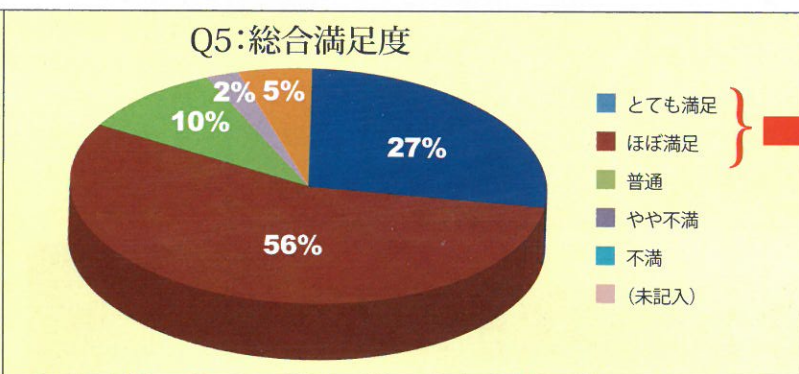
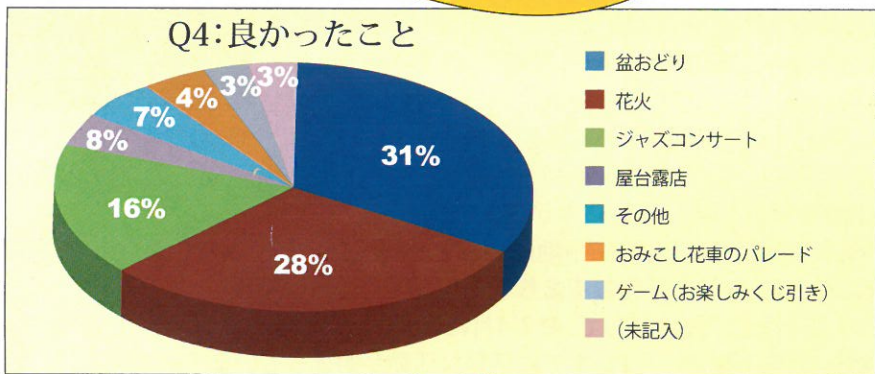


2010年

夏祭りのアンケートを実施しました！
結果の一部をご紹介します

おかげさまで今年も8月20日(金)21日(日)の二日間、夏祭りを盛大に開催することができました。皆様がたくさんのご祝儀、ご寄贈を賜り、厚く御礼申し上げます。今年はお神輿、花車のコースが変わりました。去年好評だったジャズコンサートはビッグバンドの皆さんが来てくださいました。例年のない暑さにも関わらず、多くの人出で賑わいました。

フォトコンテストにご協力をありがとうございました。次号で応募作品をご紹介します。



全体の83%が満足と評価

回答数 41

花火について... 公園の樹木をもう少し花火が見えるよう切ってほしい。
・以前のように大きい花火を。
屋台... 値段が高い。金魚すくいを入れてほしい。お店の数が少ない。
踊り... 誰でも気軽に踊れる環境を作してほしい
全般... 地域での行事としては最大のイベント。担当は大変でしょうが、がんばって欲しい。

アンケートの集計は上のグラフの通りです。この他にもたくさんのご意見をいただきました。左記はほんの一部です。貴重なご意見をありがとうございました。これからもますます夏祭りが楽しいものになっていきますよう、検討してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

花火について

ビレジの皆さんが楽しみにしている打ち上げ花火は、夏祭りが始まって以来続いています。現在ビレジで打ち上げられている花火は、尺玉ではなく、小型煙火と言われるものです。尺玉と呼ばれる花火を打ち上げるには、消防法の決まりで半径65mの広さが必要ですが、ビレジでは半径60mでも打ち上げ可能な小型煙火を打ち上げています。この花火は中国から輸入され、100連発が一箱になっています。1回に3000発以上打ち上げられます。小型でも年々進化し、尺玉に負けない美しさと迫力があります。打ち上げには、消防団が見守り、事故のないよう細心の注意を払っています。子供たちの掛け声や、歓声の中、今年も無事終了しました。夏祭りを彩る花火をこれからもお楽しみ下さい。

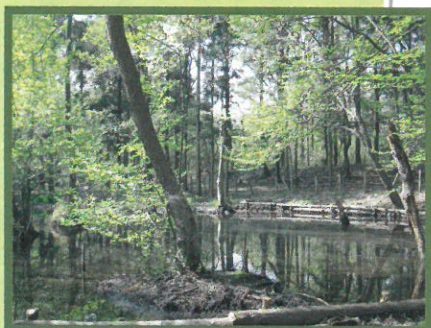
シリーズ ご近所の名所

こんぶくろ池自然博物館

柏の葉キャンパス駅から歩いて10分、ガンセンター東病院に隣接して、平地では珍しいと言われる湧き水のある「こんぶくろ池自然博物館」があり、東京ドーム4個分の広さの緑豊かな貴重な自然が残されています。

弁天池と合わせ、ここからの湧き水が、大堀川を経て手賀沼に流れ込む唯一の自然水源です。大鷹、狸、野兎、栗鼠などの動物たちや、クワガタ、カブトムシなどの昆虫類、多彩な雑木や草木など豊かな自然に囲まれた心落ち着く癒しの場となっています。

柏市教育委員会が立てた説明看板によると、江戸時代にはこの辺りに馬を放牧する牧場があり、この湧き水は馬たちの貴重な水飲み場だったそうで、古い歴史も感じさせます。自然に囲まれた美しい湧き水、多忙な日常から解放され、癒しを求めて訪れる人たちも多いようです。



残暑の厳しい日でしたが、浅草からサンバのチームが招かれるなど、多彩なイベントや花火まで大に楽しみました。柏ビレジからは踊りの会の皆さんが参加しました。

ふるさとみこし田中祭り

9月11日(土)開催

